

OBUYASHI WOOD VISION

Circular Timber Construction®

木と共に巡る未来へ



木と共に巡る未来へ

持続可能な社会の実現に向けた、脱炭素、循環、自然共生への取り組みのなかで、木材利用の重要性が高まっています。

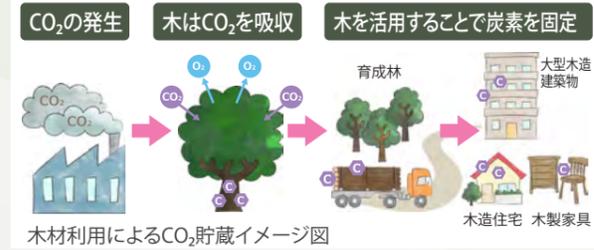
- ・二酸化炭素の削減や固定につながる木造・木質化建築は、都市の第二の森林として、「脱炭素」に大きく貢献します。
- ・こことカラダの健康につながる木造・木質空間を提供し、「ウェルビーイング(人間の豊かな生活)」を支えます。
- ・資源循環が可能な木材を活用することで、持続可能な循環型モデル「Circular Timber Construction」に取り組みます。
- ・森林循環利用の確立により、土砂災害の防止や水源涵養、生物多様性の保全など、森林の持つ多様な公益機能を守ります。

木のメリット

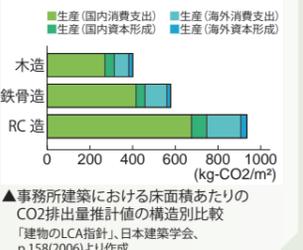
脱炭素

木は二酸化炭素を吸収し、酸素を放出することで成長し、炭素を貯蔵します。木材は、鉄や鉄筋コンクリートよりも製造時のエネルギー消費量が少ないため、二酸化炭素の排出削減に貢献します。

大林組は木造・木質化建築を推進し木材を利用することで「脱炭素」に貢献



木造建築の建設・製造時のCO₂排出量低減のメリット



木のメリット

ウェルビーイング

木材は環境面での貢献はもちろん、人や企業・地域等にとって様々なメリットがあります。地元材・地域材によるPR効果や、木質化によるリラックス効果が見込めます。

地元材・地域材の利用によるPR効果



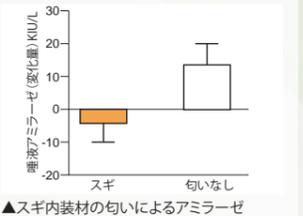
地元材の活用事例
「奈良県コンベンションセンター」

木材の香り・木材に触れることによるリラックス効果



木質化事例
「Port Plus」

木内装材を利用した部屋のストレス物質の減少効果



OBAYASHI WOOD VISION Circular Timber Construction®

木を活かす自然共生の循環型モデル

大林組は、木造・木質化建築の推進にとどまらず、川上から川中、川下その先までの循環を活性化させることにより、持続可能な森林資源の利用、自然共生社会の実現に取り組んでいます。



川上

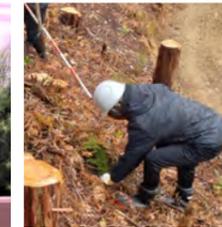
での大林組の取組

苗木から丸太を生産するまでの段階です。大林組は、人工光で効率的に苗木を育てる技術を開発し、植林を実施しています。また、農林水産省・経済産業省・環境省と連携し、木材利用を推進しています。

人工光で育てた苗木を植林



カラマツ苗木



植林

農林水産省・経済産業省・環境省との「建築物木材利用促進協定」を締結



「建築物木材利用促進協定」締結式

川中

での大林組の取組

川上から入荷した原木を加工して、製材品や木質材料を生産する段階です。大林組は、高い木材加工技術を持つグループ企業を中心に、安定的・効率的な木材の供給に積極的に取り組んでいます。

(株)サイプレス・スナダヤをグループ化した木材の安定的・効率的な供給を強化



(株)サイプレス・スナダヤ工場全景

大林グループ 木工技術のエキスパート (株)内外テクノス



(株)内外テクノス工場内観

川下とその先

での大林組の取組

実際に木材製品を建設などで使う最終消費の段階です。大林組は、国内最高層の純木造耐火建築物「Port Plus」や、木質バイオマスによるクリーンエネルギー発電に取り組んでいます。

日本初の高層純木造建築 Port Plus



立面



内観

国産木材によるクリーンエネルギー発電 大月バイオマス発電所



大月バイオマス発電所

Circular Timber Construction®の未来のかたち

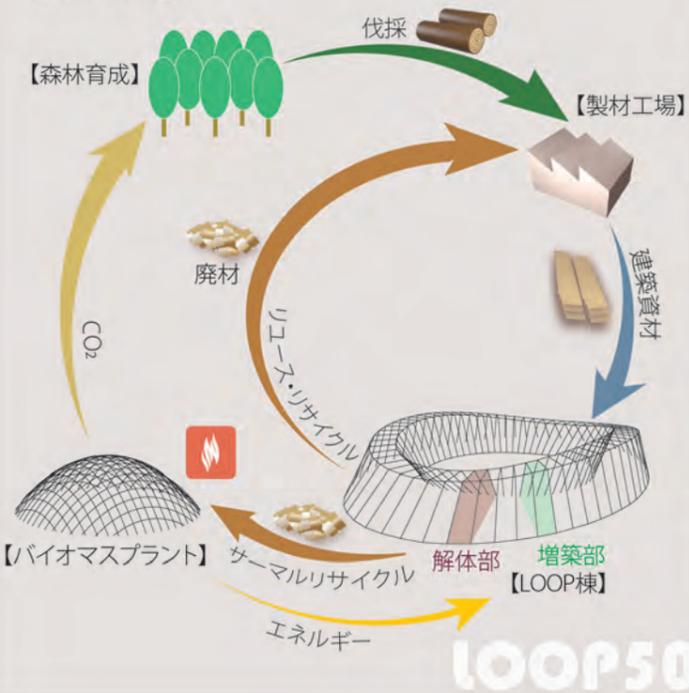
森とともに生きる木造循環型都市「LOOP50®」

未来の木造循環型都市として、大林組は「LOOP50」を構想しました。
 豊かな森林を保ち、50年かけて成長させた木を積極的に使い、木の恩恵を受け続ける。
 木の循環を促しながら、人間が森や木々と共生することを目指そうと考えたのが、「LOOP50」です。

LOOP50



【循環フロー図】



【森林資源の循環による建築とエネルギーの自給自足】

LOOP50は、周辺に所有する森林が50年かけて成長した木を伐採し、50区画で構成されるLOOP棟の1区画を毎年増築。同時に50年経過して役目を終えた1区画を解体します。森林の成長循環のサイクルと同じ50年をかけて、共に循環していきます。廃材を一部リサイクル、残りをバイオマスプラントで街のエネルギーとして活用するLOOP50は、建材とエネルギーを地産地消する職住近接の木造循環型都市構想です。

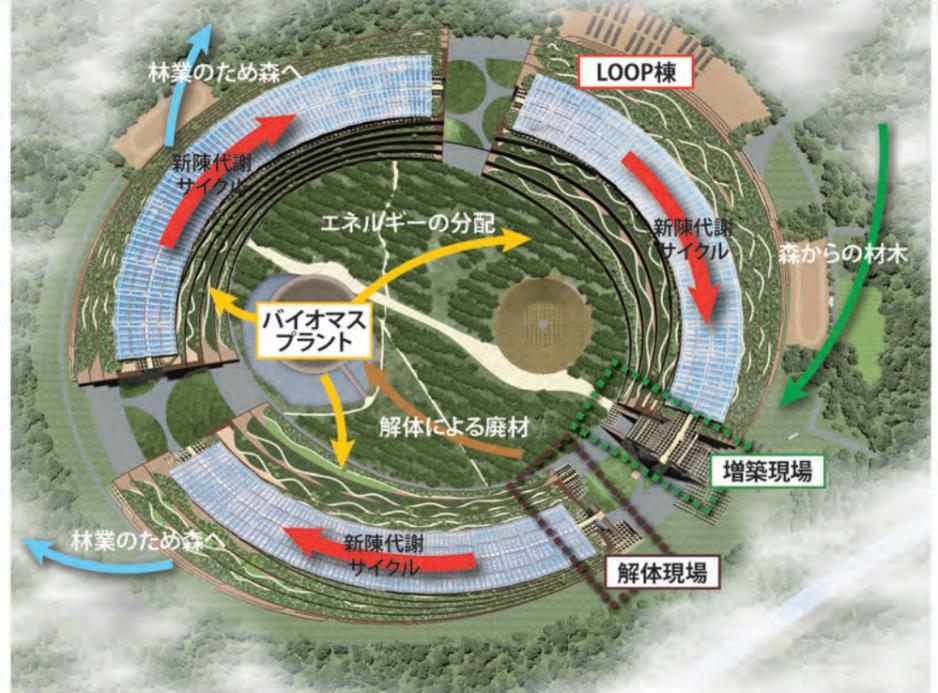


【ユニット構成】

毎年行われる増改築の基本単位で、循環の単位ともなるのが「ユニット」です。50ユニットが連結しており、全ユニットの木材量を一定とすることで、毎年の伐採量、工事量を一定にします。



【平面図】





Obayashi Sustainability Vision 2050

大林組は、「地球・社会・人」と自らのサステナビリティを同時に追求するため、将来の持続可能な社会の実現を目標とした長期ビジョンを策定しています。



株式会社 大林組

本社	〒108-8502 東京都港区港南2-15-2 品川インターシティB棟 TEL 03-5769-1111	京都支店	〒604-8156 京都市中京区室町通錦小路上ル山伏山町550-1 TEL 075-241-5871
札幌支店	〒060-0003 札幌市中央区北三条西4-1-1 日本生命札幌ビル TEL 011-210-7777	大阪本店	〒541-8630 大阪市中央区北浜3-5-29 日本生命淀屋橋ビル TEL 06-7632-8700
東北支店	〒980-0011 仙台市青葉区上杉1-6-11 日本生命仙台勾当台ビル TEL 022-267-8511	神戸支店	〒650-0001 神戸市中央区加納町4-4-17 ニッセイ三宮ビル TEL 078-322-4400
関東支店	〒330-6018 さいたま市中央区新都心11-2 TEL 048-621-5130	広島支店	〒730-0041 広島市中区小町1-25 TEL 082-242-5002
東京本店	〒108-8502 東京都港区港南2-15-2 品川インターシティB棟 TEL 03-5769-1111	四国支店	〒760-0007 高松市中央町11-11 TEL 087-831-7121
横浜支店	〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-23-2 TEL 045-410-1876	九州支店	〒810-0001 福岡市中央区天神1-14-18 天神ブリッククロス TEL 092-271-3811
北陸支店	〒950-0087 新潟市中央区東大通2-4-10 日本生命新潟ビル4F TEL 025-246-6666	アジア支店	1 Paya Lebar Link, #06-03, Paya Lebar Quarter 1, Singapore 408533 TEL +65-6230-3200
名古屋支店	〒461-8506 名古屋市東区東桜1-10-19 TEL 052-961-5111	北米支店	950 Tower Lane, Suite 800, Foster City, CA 94404, U.S.A. TEL +1-650-952-4910



大林組の木造・木質建築 HP



WOOD VISION(Youtube)